

花 信

目 次

信州大学附属図書館への期待	1
図書館情報システムを更新	3
学長裁量経費による新規購入大型参考資料の紹介	5
平成12年度信州大学図書館講演会について	7
お知らせ	8
(本学関係者著作寄贈図書一覧)	
分館だより(農学部分館)	10
業務日誌	11
附属図書館収書委員会名簿	12
人事異動	12

信州大学附属図書館への期待

信州大学長 森 本 尚 武

大学時代に私は生物系の養蚕学科に属し、幼少の頃から興味をもっていた昆虫関係の図書「フェアブル昆虫記」をはじめ、昆虫や動物関係の図書を借り出して読んでいたが、主に試験前やレポート提出のために図書館を利用していたのであって、図書館通いの“むし”とは到底言えるものではなかった。その後頻りに図書館を利用し始めたのは、大学院へ入学して昆虫生態学を専攻するようになった

てからのことである。昆虫学は動物学の一分野であることから、昆虫学ばかりでなく動物学関連の一般書や専門書を読む必要が出てきたのである。しかし、図書館へ行くたびに、薄暗い建物と天井まで本が並べられた書架を見るにつけ、何ともいえない圧迫感をもってしまい、図書館がどうも好きになれなかったことを思い出す。

たまたま30数年前にアメリカへ留学し、そ

この図書館を利用する機会を得た。建物の内部は明るく、天井や床面も美しく落ち着いた雰囲気をかもし出す工夫がこらされていて、日本の大学で抱いていた図書館のイメージとは全く異なっていた。当然のことながら学生や教職員の利用者は極めて多い。ここでは本を借りることよりも、図書館という場所で勉強するという機能の方が随分大きかったように思う。少しでもよい空間確保を巡っての場所取り競争さえ生じていた。適正な大きさの学習空間がどうしても必要になる。もうひとつ面白いことに、本の返却期限が切れた場合には一日延びるごとに高い罰金が課せられ、この罰金を図書館で働く学生のパート代に当てるという極めて合理的なシステムがとられていた。

ところで、情報機器のめざましい発達によって、文献検索や情報収集は以前と比べて格段便利になった。しかし学習する場あるいは空間としての図書館の機能は今も昔も変わらないはずである。図書館のもっているこの2つの機能を改善していくことが、信州大学の図書館にとっても今後の焦眉の課題である。この2点について私見を述べてみたい。

学習環境としての図書館の改善

単位制度の実質化の課題に対しては、教育組織における方法論の対応も重要であることにちがいはないが、学生の主体的学習の場を提供する施設となるよう整備する必要がある。信州大学はキャンパス分散型の大学であるために、5つの分館を含めて6つの図書館があるが、それぞれの内容に即した同じ水準の学習支援機能を果たしていくことを学生たちも強く望んでいる。蔵書の充実はもとより、学生

や教職員といった利用者側にたった環境の改善・整備が必要である。さらに適正な大きさの学習空間の確保に加えて、建物の周囲の環境の整備も同時に進めたい。

学術情報センターとしての図書館の改善

本学は“地域に根ざした大学”を大学改革の一つの重要な柱として位置付けており、教育・研究の成果を中心とした学術情報を学外へ発信することが必要である。インターネットが進歩している今日では図書館にゲートウェイ機能を付加することも必要であろうが、図書館が本来もっているレファレンス機能の延長上の機能と位置付けて、学内各部局と協力してシステムを構築することを考えるべきではなからうか。キャンパス分散型の大学における附属図書館の役割として、中央館・分館それぞれに特色をもたせ、附属図書館を電子図書館化し、ネットワーク型の図書館とすることも一つのアイデアであると思う。さらに図書館のもつ重要な機能を円滑に発揮するためには、その他学術情報の電子化、オンライン化対応として、例えば外国雑誌の個人購入から集団購入へ変えることも考えられるし、情報の蓄積のためには今後の共同研究、学際的研究や異分野交流の推進に対応するための体制作りも重要である。また地域の人々への図書館の開放や開館時間の延長、土曜日、日曜日の開館の徹底も考える時期である。

アカデミックな雰囲気の信州大学附属図書館となるよう、私の期待は大きい。

(もりもと なおたけ)

図書館情報システムを更新 !!

平成13年2月1日から図書館情報システムが新しくなりました。

新たに運用が開始されたシステムは、「NALIS」というNTTデータのパッケージをもとに信州大学固有の機能を付加したものです。

業務アプリケーションは、図書受入、雑誌受入、図書・雑誌目録、閲覧、ILL、システム管理と大きく6つのサブシステムで構成されています。サーバのOSはWindowsNTで、端末のOSはWindows 2000です。

利用者サービスでは、これまでの、「蔵書検索(OPAC)」「申込システム(図書購入、文献複写・現物貸借)」「新着図書紹介」に加え、新たに「新着雑誌案内」をサービスすることになりました。なお、SwetScanもインタフェースを一新しました。

以下に、利用者サービスについての概要を説明します。

<1> 蔵書検索(OPAC)

蔵書検索での新たな機能の主なものは以下のとおりです。

① 簡易検索と詳細検索

これまでは、一つの画面インタフェースだけでしたが、新しいシステムでは詳細検索画面を用意し、フルタイトルキー、記号番号類等による検索を可能としています。

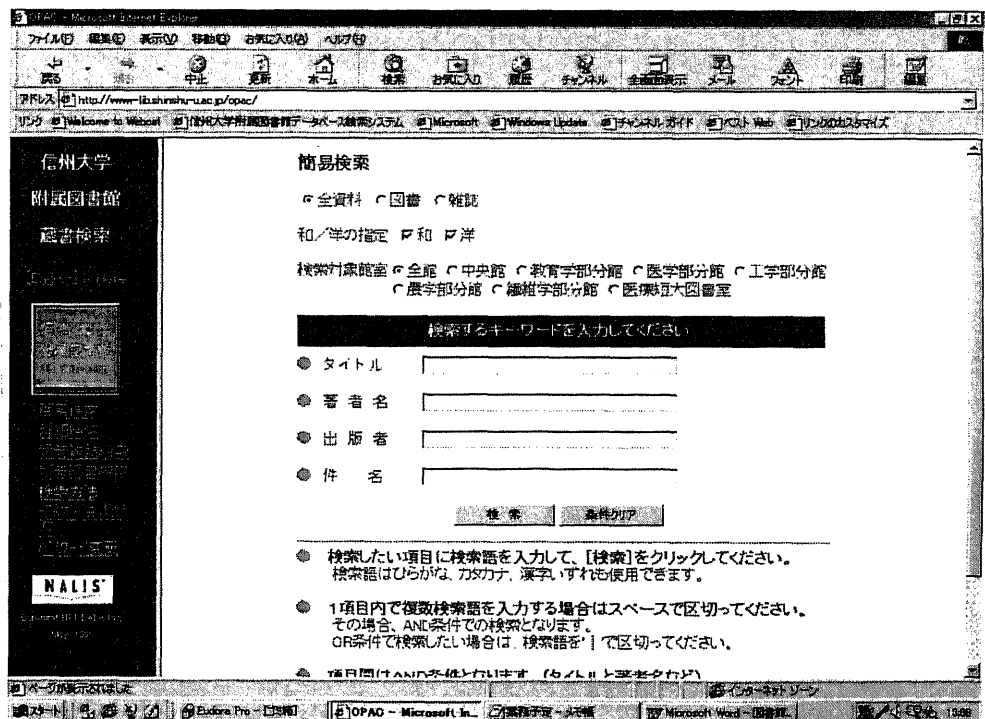
② 館室指定による検索

最初の検索画面で、所蔵館室をあらかじめ指定することが可能です。初期値は「全館」としてありますが、必要に応じて検索対象館室を指定してください。

③ 英語版

簡易検索、詳細検索ともに英語版のインタフェースを用意しました。

(初期画面)



④ 図書雑誌を区別しない検索

図書館では、利用形態への配慮や整理の都合から、資料を図書と雑誌とに大まかに分けて管理しています。この管理はデータベース上の区分にも反映しています。このため、図書か雑誌かどちらか分からない場合は「全資料」を選択することにより、一回の検索で所蔵資料を探すことが出来ます。

④ 日本語のヨミによる検索

日本語のヨミによる検索は、「カタカナ」でも「ひらがな」でもどちらも等価とみなして検索します。

⑥ NACSIS-Webcat との連動

簡略表示の画面で、「WebCat 検索」ボタンをクリックすると、既に入力したものと同一検索キーでNACSIS-Webcatを検索します。

<2> 申込システム

図書購入依頼とILL依頼(文献複写、現物貸借)の申込をWWW画面から行うことが出来ます。申込にあたっては利用者番号が必要となります。利用者番号は図書館利用証の番号と基本的に同一です。(利用者番号の<8>は無視してください。)

<3> 新着図書紹介

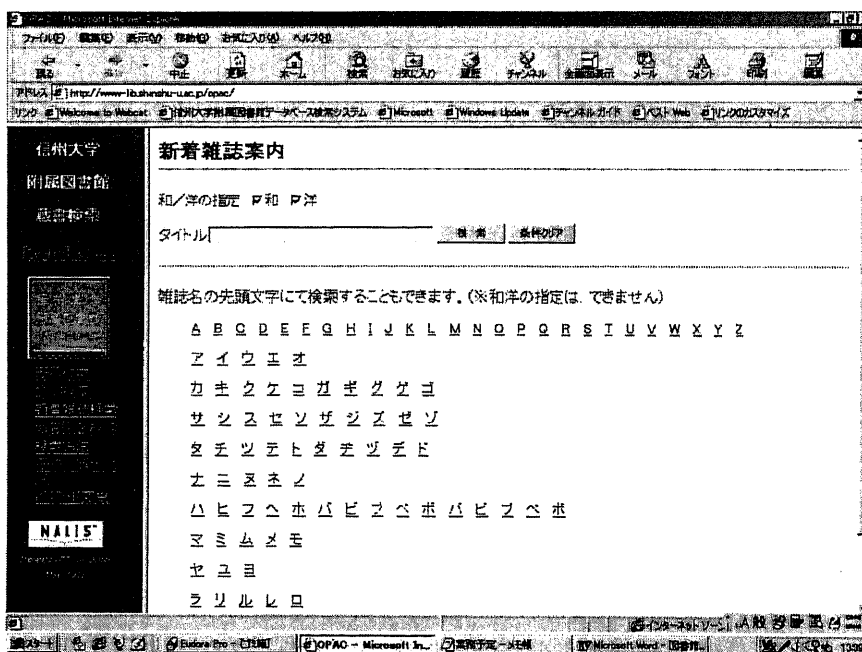
データベースに日々登録された図書を表示します。データは旬(1日~10日、11日~20日、21日~月末)の範囲でグループ化されており、選択したグループの一覧表示中の標題は蔵書検索(OPAC)の詳細表示画面とリンクしており所在情報を確認できます。

<4> 新着雑誌案内

雑誌の選択にあたっては、タイトル欄にキーワードを入れて雑誌名を検索する方法と雑誌名の先頭文字を選択して検索する方法との二種類が用意されています。

雑誌の詳細表示画面、新着情報のほかに所蔵情報ともリンクしています。

(初期画面)



学長裁量経費による新規購入大型参考資料の紹介

平成12年度附属図書館申請の学長裁量経費として「ネットワーク型図書館構築プロジェクト」が採択されました。今年度は調査研究資料の整備(専門参考図書、高額専門図書)について重点的に運用することにし、整備した資料をもとにしたレファレンス機能の強化を目指しています。

当初の計画では、全館あわせて500点ほどの参考資料がリストアップされ、今年度はそのうち100点ほどの大型参考資料を購入することができました。

以下に各館で購入した資料の中から一点を選んで概要を紹介します。

中央館：「年表情報集覧」 第1期—第2期

10冊 1998—1999年 大空社

この叢書は年表をジャンルごとにまとめたもので、第1期と第2期から成りそれぞれ5巻から構成されています。第1期、第2期ともに第1巻は「年表」の書誌データで、収載項目延べ1500タイトルを五十音順で検索できます。第2巻から第5巻は、ジャンルごとの書誌データと「年表」が復刻されています。「年表」を社会一般事象に従って10ジャンルに分類し、近似のジャンルごとに第2巻から第5巻までの4巻に分け収録しています。各巻の内容とジャンル分けは下記のとおりです。

[第1巻]五十音順書誌データ, [第2巻]思想・宗教, 歴史・世界・地域, [第3巻]国際・政治・経済, 社会, [第4巻]教育・学術, 科学技術, 福祉・医療・リハビリテーション, [第5巻]情報・ジャーナリズム, 文化・芸術・スポーツ, 文学

一般的にある事柄を究めるためには、その事柄の年代的な移り変わりをたどり、理解を深めていくことが重要です。この年表情報集覧は事柄を概略的に理解していく上で大いに役立つ資料ですので、是非ご利用ください。

教育学部分館：『教育問題の10年：雑誌文献目録1990—1999』

2000年 日外アソシエーツ

近年、学校現場を中心に、いじめ、校内暴力、不登校、学級崩壊等、教育に関連する様々な事件が発生し、深刻化の度合いを強めている。

本書は1990～1999年に発表された日本の教育関連の雑誌記事をテーマ別に分類した文献目録として2000年4月に刊行されたものである。教育現場が抱える上記の諸問題や関連記事15,000点を国内発行の140の総合雑誌、教育専門誌などから収録している。

収録分野は、教育一般、教育制度、行財政、教育心理・意識、若者文化・生活、保健・体育、非行・少年犯罪、幼児教育・保育、学校教育、大学教育、障害者教育、社会教育、家庭教育、しつけ、など多岐にわたり、「執筆者名索引」「事項名索引」も付けられている。

教職をめざす本学の学生及び教育に関わる研究者にとって、学校現場の抱える様々な問題を理解し臨床の場にどう臨めばよいのか、教育改革にどう参加すればよいのか、考えるべき課題は多い。本書はその学習研究のための有効な情報源になるであろう。

医学部分館：『遺伝子治療開発研究ハンドブック』

1999年 エヌ・ティー・エス

「遺伝子治療開発研究ハンドブック」は遺伝子治療について、182名もの執筆者によってあらゆる方面から解説されているハンドブックである。特長としては、基礎的研究から臨床への応用までが順次解説されていることで、遺伝子治療に関わるすべての分野の研究に役立つと思われる。また遺伝子治療に関する参考図書はまだまだ少ないので、その点でも貴重な図書である。内容を簡単に紹介しておく、遺伝子治療の概要・先天性疾患や癌などの遺伝子異常の病態・導入技術・各種疾患モデル動物への実際の治療・安全性について・ガイドラインなどとなっている。

工学部分館：『JISハンドブック：2001』67冊

2001年 日本規格協会

JIS (Japanese Industrial Standard 日本工業規格)は、工業標準化法(昭和24年法律第185号)に基づいて、日本工業規格調査会で調査・審議され、政府によって制定される鉦工業品の国家規格である。合格した商品に㊟(JISマーク)が付けられていることはよく知られている。約8800の規格が、鉦工業品などの生産、流通、使用の分野にわたり制定され、規格が適正であるかどうかを、それぞれの規格の制定および改正の日から5年を経過する日までに調査会の審議に付し、確認・改正・廃止といった措置がとられる。さらに国際化への対応、情報化・新技術および消費生活の向上への対応など、多様化する社会ニーズに即応して逐次新しいJISが審議、制定されている。

このようにJISは、工業生産の基盤として開発・生産・取引における重要な技術情報であり、工学部の教育・研究にとっては、もっとも基本的に必要とする情報である。『JISハンドブック』はJIS規格票の縮刷版として、関連する規格を分野別に1冊に編集、一度に参照することが可能で、JISをコンパクト、ハンディに活用できるものである。各分野ごとの参考資料も収録されている。JISのすべてが検索できる『JIS総目録』の冊子体とCD-ROM版も購入した。

農学部分館：『農業技術体系検索CD-ROM』

農産漁村文化協会

本CD-ROM版は、膨大な農業技術体系の6シリーズ「作物編全8巻」、「野菜編全12巻」、「果樹編全8巻」、「花卉編全12巻」、「畜産編全8巻」、「土壌施肥編全8巻」の全ての内容、約48,000ページを7枚のCD-ROMに収録したものです。必要とする情報や内容を、初心者でも容易にパソコンの画面で検索し印刷することができます。例えば、自分の調べたい作物名、用語や単語(フリーワード検索、キーワード検索)などを検索用語として入力することにより、詳細な情報や各ページの内容が画像として表示される仕組みになっているので、簡単な操作で使用することができます。本CD-ROM版は、追録版も含め、これらの大部な冊子体シリーズを全て配架するスペースの余裕に乏しい農学部分館において、自由にそして簡単に利用することができますので、大いにご活用ください。

繊維学部分館：『ビデオ教材』

この度、参考図書として、100万円分のビデオ資料を購入した。

この中には、従来の参考図書でカバーできない実験指導教材などが含まれており、今後の講義、講習会、ゼミなどでの有効利用が期待されている。特に、繊維学部では、教室のマルチメディア化を行い、こうした教材が講義で利用できる環境を整えた。これと連携する参考資料が図書館に整備されたことになる。一例をあげると、実験上の安全教育が必修科目として設定されているけれども、ビデオ教材、インターネット教材などを用いた半経験的な講義が日常的に実施できるため、教育効果の改善が図られるものと期待されている。分館自体のマルチメディア化という視点で一つのステップとなることを願っている。

平成12年度信州大学図書館講演会について

平成12年11月、平成13年2月、3月に附属図書館主催の図書館講演会が実施され、各講演会とも多数の参加者をえて、好評をもって終了しました。

以下にその概要をお知らせします。

<第1回>

テ ー マ：レファレンス・サービスの新局面
 講 師：信州豊南短期大学 大塚 敏夫氏
 日 時：平成12年11月29日(水) 午後2時～5時
 講演会場：信州大学附属図書館会議室
 講演要旨：電子メールで質問を受け付け、インターネットの膨大な情報資源を活用して、回答を作成し、電子メールで返送するというエレクトロニック・レファレンスが米国を中心に実用化されてきており、わが国でも参考図書を中心とするレファレンスの形態を変えようとしている。



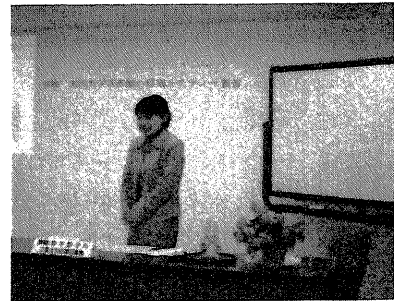
<第2回>

テ ー マ：図書館と情報リテラシ
 講 師：山形県立米沢女子短期大学 佐藤 義則氏
 日 時：平成13年2月28日(水) 午後2時30分～5時
 講演会場：信州大学SUNS会議室(松本会場、西長野会場、若里会場、南箕輪会場、常田会場)
 講演要旨：大学図書館における情報リテラシ教育への取り組みに関し、その意義、問題点、動向等について、「情報化社会における図書館サービスの変化」を軸に現状を整理し、今後のあり方を解説した。



<第3回>

テ ー マ：米国大学図書館の情報リテラシー教育
 講 師：千葉大学附属図書館 鈴木 宏子氏
 日 時：平成13年3月22日（木）午後3時～5時
 講演会場：信州大学附属図書館会議室
 講演要旨：コーネル大学、コロンビア大学、イエール大学の各図書館での情報リテラシー教育の現状について最新の動向を紹介し、日本の大学図書館での今後のあり方を考察する。なかでも、電子化時代における専門書誌学の必要性について焦点をあてる。



お 知 ら せ

本学関係者著作寄贈図書一覧

（平成12年8月～平成13年2月）

館名	書名	発行者	出版年	寄贈者	所属
中央館	しまなみを超えて	法規文化出版社	2000	小柴善一郎	元理学部
	ロバのいななき	エースビジコム出版	2000	栗座 莞	元医学部
	市民の反抗	岩波書店	1997	飯田 実	人文学部
	セイレムの魔術	工作舎	1991	飯田 実	人文学部
	森の生活（上）	岩波書店	1995	飯田 実	人文学部
	森の生活（下）	岩波書店	1995	飯田 実	人文学部
	ドイツの景観都市	工作舎	1995	飯田 実	人文学部
	コッド岬	工作舎	1993	飯田 実	人文学部
	日独環境まちづくりセミナー 全記録	日独環境まちづくりセミナー 実行委員会	1989	飯田 実	人文学部
	第2回 日独環境まちづくり セミナー 全記録	日独環境まちづくりセミナー 実行委員会	1992	飯田 実	人文学部
	第3回 日独環境まちづくり セミナー 全記録	日独環境まちづくりセミナー 実行委員会	1994	飯田 実	人文学部
	信州大学における英語教育 の現状と展望	信州大学教育システム開発 センター	2000	杉野健太郎	人文学部
	マルチメディア時代の 外国語教育	信州大学教育システム開発 センター	2000	杉野健太郎	人文学部
概説 民法 増補版	勁草書房	2000	後藤 泰一	経済学部	

	復刊 落語教師 蛭川幸茂	復刊『落語教師』刊行会	2000	蛭さん『落語教師』刊行会	
	復刊 続 落語教師 蛭川幸茂	復刊『落語教師』刊行会	2000	蛭さん『落語教師』刊行会	
	新版 イタリア・ルネサンスの文化と社会	岩波書店	2000	柴野 均	人文学部
	The Many Faces of Dr.MORIE SEKIGUCHI-A Lifetime Achievement-	信州大学医学部 第一内科学教室	1999	関口 守衛	元医学部
	思索の栞 人間・教育・歴史	星雲社	2001	坂本 保富	教育システム研究開発センター
	川中島合戦 再考	新人物往来社	2000	笹本 正治	人文学部
教育学部	体験過程と意味の創造	ぶっく 東京	1993	筒井 健雄	教育学部
分館	中学校総合的学習新構想プラン集 1 教科学習をもとに創る	教育出版	2000	洪澤 文隆	教育学部
	中学校総合的学習新構想プラン集 2 特活・道徳をもとに創る	教育出版	2000	洪澤 文隆	教育学部
	中学校総合的学習新構想プラン集 3 生徒指導をもとに創る	教育出版	2000	洪澤 文隆	教育学部
	中学校総合的学習新構想プラン集 4 進路指導をもとに創る	教育出版	2000	洪澤 文隆	教育学部
	中学校総合的学習新構想プラン集 5 現代的課題をもとに創る / 著:	教育出版	2000	洪澤 文隆	教育学部
	新訂 あたらしいこくご1上	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 あたらしいこくご1下	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語2上	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語2下	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語3上	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語3下	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語4上	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語4下	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語5上	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語5下	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語6上	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
	新訂 新しい国語6下	東京書籍	2000	益地 慶一	教育学部
農学部	作物学(I) 食用作物編	文永堂出版	2000	俣野 敏子	名誉教授
分館	釧路湿原を歩く	福音館書店	1988	近藤 泰年	元農学部
	傷だらけの神々の山	山と溪谷社	1996	近藤 泰年	元農学部
	だれが大地を壊したか	農山漁村文化協会	1989	近藤 泰年	元農学部
	おじいさんの戦争は終わったか	農山漁村文化協会	1992	近藤 泰年	元農学部

分館だより： 農学関係の情報を検索してみませんか！**農学部分館**

Web上で無料で検索できるデータベースの中で医学関係のPubMed、教育学関係のERICは特に有名ですが、ここで御紹介するAGRICOLA(米農学図書館提供)とAGROPEDIA:農学情報資源システム(農林水産研究情報センター提供)も農学関係の情報を得るのに威力を発揮するデータベースだと思います。自然語でも検索できますし、その検索結果から索引語で検索する事まで導いてくれますので、あるテーマについての的確かつ網羅的に検索する事も可能です。自分の専門分野のデータベースばかりでなく、農学関係のデータベースも是非アクセスしてみてください。思いがけない情報が得られるかもしれません。

以下に簡単に説明いたします。

① AGRICOLA

OPAC(米農学図書館蔵書目録)と資料に掲載された文献が検索できます。OPACは蔵書検索はもとより、農学系の図書、会議録、雑誌、米公的機関発行資料の同定にも大変役立ちます。文献は、雑誌の他に、図書、会議録、技術資料等まで検索できます。文献、OPACとも数多くのABSTRACTS等を発行しているイギリスのCABI社の索引語が付与され、リンクされていますので、自然語での検索の後、索引語による再検索が可能です。現在1970-1978年の文献も入力作業中との事です。

② AGROPEDIA(農学情報資源システム)

「農林水産衛星画像データベースシステム」等4項目からなっていますが、文献検索としてお勧めしたいのは「農学情報データベース」内のAGRIS、JASIです。AGRISは世界の農林水産関係の文献が1970年頃から検索可能です。JASIは「日本農学文献記事索引」をデータベース化したもので、国内文献が検索できます。「農学情報データベース」は、本年1月から自分のメールアドレスを登録してパスワードを設定しないと検索できませんがWEB上で簡単に登録できます。

また「農林水産研究成果ライブラリ」では農林水産省試験研究機関で発行された技術報告等の資料が創刊から最新号まですべて、全文PDF表示可能です。

最近マスコミでは、ポリフェノール、カテキンなどの食品成分の病気や健康への効能等や、ダイオキシン、森林破壊、ガーデニング、森林療法等の記事が話題になっています。

農学関係の情報は、学生や研究者ばかりでなく、生活をより楽しく健康的に過ごすための情報を得たい一般の方にも役立つかもしれません。

ここで御紹介したデータベース等は、すべて農学部図書館のホームページでリンクしていますので、URLは省略させていただきました。

また、他に農学関係の情報が得られる信頼できるサイト等ありましたら是非御教え下さい。ホームページにリンクして活用させていただきます。

業務目録

平成12年

- 10月13日 附属図書館運営委員会(平成12年度第3回SUNS使用)
附属図書館収書委員会(平成12年度第3回SUNS使用)
信州大学附属図書館備付資料選定基準制定
- 10月19-20日 平成12年度第3回ILLシステム講習会
(国立情報学研究所/工学情報係:滝口)
- 10月26-27日 平成12年度北信越地区国立大学図書館研修会
(北陸先端科学技術大学院大/医学情報係:川西)
- 10月27日 第50回長野県図書館大会(中野市/情報管理課:金井、資料サービス係:犬浦、
教育学情報係:上原・春原、農学情報係:塚原、繊維学情報係:宮下)
- 11月6-9日 平成12年度大学図書館職員講習会(京都大/教育学情報係:小島)
- 11月13日 館長・分館長懇談会(附属図書館館長室)
- 11月20-21日 平成12年度北信越地区国立大学附属図書館事務(部・課)長会議
(上越市/事務部長、情報管理課長、情報サービス課長)
- 11月20-22日 NAIST電子図書館学講座
(奈良先端科学技術大学院大/資料サービス係:犬浦)
- 11月29日 平成12年度第1回図書館講演会:テーマ「レファレンス・サービスの新局面」
講師:信州豊南短期大学助教授 大塚敏夫氏
- 11月30日 人文・経済・理学部運営委員懇談会(附属図書館館長室)
- 12月7日 平成12年度新CAT/ILLシステム説明会
(国立情報学研究所/教育学情報係:春原)
- 12月7-8日 第13回国立大学図書館協議会シンポジウム
(名古屋大/学術情報係:淵井)
- 12月8日 附属図書館運営委員会(平成12年度第4回SUNS使用)

平成13年

- 1月22-25日 新図書館情報システム操作説明会(附属図書館会議室)
- 1月25日 平成12年度国立大学附属図書館事務部長会議(徳島大学/事務部長)
- 1月31-2月2日 平成12年度第3回目録システム講習会「雑誌コース」
(国立情報学研究所/医学情報係:川西)
- 2月1日 附属図書館自己点検・評価委員会(平成12年度第2回)
館長・分館長懇談会(附属図書館館長室)
<図書館情報システムリプレイス>
- 2月6日 長野県図書館大会第2回企画委員会(長野市/情報管理課:金井)
- 2月15日 平成12年度大学図書館情報化促進会議
(学術総合センター/資料サービス係:桃井)
- 2月16日 附属図書館運営委員会(平成12年度第5回SUNS使用)
- 2月20日 NACSIS-CAT/ILL講習会担当者会議
(国立情報学研究所/情報管理課:金井)
- 2月23日 図書系一元化検証ワーキンググループ会議(附属図書館会議室)
- 2月28日 平成12年度第2回図書館講演会:テーマ「図書館と情報リテラシ」
講師:山形県立米沢女子短期大学助教授 佐藤義則氏
- 3月1日 NACSIS-IR地域利用説明会担当者会議
(国立情報学研究所/雑誌情報係:城倉)
- 3月8日 図書館情報システム検討ワーキンググループ会議(附属図書館会議室)

附属図書館収書委員会名簿

平成13年2月1日現在

附属図書館	運営委員 図書館長	野村俊明	情報管理課	総務係長	永原義人
人文学部	運営委員	吉田正明	情報管理課	図書情報係長	伊藤光博
教育学部	運営委員 分館長	益地憲一	情報管理課	雑誌情報係長	城倉眞一
経済学部	運営委員	後藤泰一	情報サービス課	情報サービス課長	菅原英一
理学部	運営委員	真次康夫	情報サービス課	資料サービス係長	桃井栄一
医学部	運営委員 分館長	村瀬澄夫	情報サービス課	学術情報係長	淵井正文
工学部	運営委員 分館長	土屋良明	教育学部	教育学情報係長	峯村 武
農学部	運営委員 分館長	柴田久夫	医学部	医学情報係長	内海 広
繊維学部	運営委員	松瀬丈浩	工学部	工学情報係長	北澤文男
附属図書館	事務部長	湯本一義	農学部	農学情報係長	塚原俊敬
情報管理課	情報管理課長	重里信一	繊維学部	繊維学情報係長	杉本詔守
情報管理課	図書館専門員	金井忠彦			

人事異動

日付	区分	新官職名等	氏名	旧官職名等
12. 9. 30	辞職		原山 秀昭	情報管理課雑誌情報係長
12. 10. 1	昇任	情報管理課雑誌情報係長	城倉 眞一	情報管理課雑誌情報係
12. 10. 1	採用(新規)	情報管理課雑誌情報係	波止 教史	
12. 10. 1	採用(新規)	農学情報係 事務補佐員	木下 英樹	時間外担当
12. 10. 1	採用(新規)	農学情報係 事務補佐員	井上 文秀	時間外担当
12. 10. 31	H12. 10. 31付任期満了により退職		永井 玲子	繊維学情報係事務補佐員
12. 10. 31	辞職		田村さおり	情報サービス課学術情報係
12. 11. 1	転任	医学情報係	岩波 峰子	富山医科薬科大学総務部主計課
12. 11. 1	業務復帰	繊維学情報係	武田 佳代	
12. 12. 22	採用(新規)	工学情報係事務補佐員	庄村のぞみ	平成13年3月30日まで

花信 第9号 2001年3月30日 [年2回発行]

■ 編集 花信編集委員会 (菅原英一・金井忠彦・伊藤光博・犬浦恭子・瀬尾明範)

■ 発行 信州大学附属図書館

〒390-8621 松本市旭3-1-1

TEL 0263 (37) 2174 ・ FAX 0263 (33) 5833

URL : <http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/>E-mail : jjja0141@gipac.shinshu-u.ac.jp